

富まちミーティング【公園編③】記録

■概要

日 時：2021年4月11日（日）10：00～

会 場：ゆう・ゆうプラザ（人権文化センター）

参加者：計18名

主な内容：○趣旨説明、前回までの振り返り

○計画案に対する意見交換

○グループディスカッション（管理運営について）

○グループディスカッションの発表・まとめ

■ワークショップの様子



計画案に関する意見

- ・屋根の下や木陰で花や子どもの遊びを眺めながら休憩できる場所があると嬉しい。
- ・子どもからお年寄りまでみんなで使える公園になっているとよい。
- ・安心安全な公園となるために、公園を周りから閉じず、外からも見通せることが大切。
- ・子どもの遊具だけでなく、大人も使える丈夫な健康遊具が欲しい。

1 班の意見

参加者：5名

(1) 管理運営の主体や仕組みについて（誰がどのように関われるか）

①課題の解決と、目指す公園利用を実現していくために、どのような地域の人々の関わりが期待できるか。

- ・現在地域で活動している人々や、公園を利用している人たちと連携していく
- ・自治会の班長さん
- ・青少年補導員、指導員（巡回時にお願いする）老人会
- ・町内の防犯パトロール
- ・グランドゴルフのチームなど
- ・植物の世話好きの人たち
- ・学校関係者

②このような人たちが協力しあえる仕組みについて

- ・「新しい公園の自治会」のような仕組み（組織または会議など）を設けて、班（班長さん）ごとに交代で見回りや管理の活動を行えばよいのではないか。

(2) 今後考えていく課題について（どんなルールやマナーが必要か）

①今考えられる管理運営の課題

【植栽について】

- ・10年後、20年後を見据えた樹木の選び方が大切。「公園は作った時が出発点」
- ・落葉樹は冬場の清掃が大変。樹木は密に植えない方が良い。
- ・サクラ（ソメイヨシノ）は、花は美しく早く大きくなるが、ケムシがつきやすく、寿命が短い（枯れやすい）。
- ・ポプラなどは倒れやすい。
- ・草抜きや花の世話をする方をどのようにするかが課題。

【利用マナー】

- ・大人がゴルフをしている。

【ゴミの問題】

- ・ゴミ箱を設置するのであれば家庭ごみを持ち込まないような対策が必要。
- ・ゴミ箱の管理・清掃をどのようにするかが課題。

【犬の散歩】

- ・犬の散歩のルールが必要

②どのような利用を目指して管理運営を考えていくか

- ・アンネフランクのバラ（和泉市平和実行委員会）や小栗・照手姫ゆかりのハナモモ（相模原から贈られた木）などを公園のシンボルとして育てて行く。
- ・小学生の自転車遊びや孫（幼児）と一緒に遊べ、過ごせるような公園利用。（大きな子と、幼児とが共存できる公園利用）
- ・花を見ながら散歩できるような公園利用がしたい。

2 班の意見

参加者：4名

（1）管理運営の主体や仕組みについて（誰がどのように関われるか）

- ・公園を利用するさまざまな個人や団体が集まって、公園のことについて話し合う「協力会」を立ち上げてはどうか。
- ・公園に関するさまざまな課題や、やってみたいことがあれば、とりあえず寄り合って、話し合い、ルールなどをみんなで考えればよいと思う。
- ・この協力会には、たとえば自治会や個人、市民活動団体、NPO、公園の周辺に立地する店舗、また、新たにこのまちへ移住してくる若い人たちにも参加してもらえると良い。

（2）今後考えていく課題について（どんなルールやマナーが必要か）

①ルールの決め方について

- ・市内の他の公園では、ゲートボールは曜日や時間帯（早朝）を限定してできるようなルールがある。このような利用については、毎回許可を取る様なことは手間がかかるので良くない。
- ・ゲートボール、子ども達の遊び、地域のイベントなど、利用がバッチィングするときは、話し合いによって、ルールを考えればよい。

- ・様々な団体、個人が関わるのが良いが、最初はとっかかりが必要だと思うので、まずは地域の自治会から各々に声掛けをしていくと、集まってもらいやすいのではないかな。

②考えていく課題について（協力会での話題になりそうなこと）

- ・トイレはいたずらや犯罪の標的になりやすいので、夜間は施錠するのはどうか。そのカギの管理をどうするかについては、考えなければいけない。
- ・季節ごとに楽しめる樹木（春ならウメ、モモ、ハナミズキ、サクラなど）や花が欲しいが、落ち葉清掃や花壇のお世話などの管理が大変。これも、だれが管理するのか、考えなければいけない。
- ・夜間暗い公園が多く、治安上良くないので、照明などが必要だと思う。また、防犯カメラを設置した方がよいかどうか、また、どこに設置したらよいかについても考える必要がある。

3 班の意見

参加者：5名

(1) 管理運営の主体や仕組みについて（誰がどのように関われるか）

①公園への関わりが期待できる団体などについて

- ・地域住民、地元の NPO（現場）などが考えられる。
- ・費用も要るから行政にも関わってもらわなければいけない。
- ・費用の事も考慮するのであれば、青少年センターや地域子育て支援センターに運営してもらおうとか。
- ・近隣認定こども園等で出前保育（公園での未就学児の保育）を行ってもらおうとか、園庭解放の出張版みたいなもの（和泉チャイルド幼稚園）はできないだろうか。
- ・プレーパークを NPO 法人 DASH（現どろんこくらぶ：小学生を放課後に預かり、活動する団体）でおこなってもらおうとよいのではないかな。
- ・子ども自身（自分たちでつくる）が運営するようになる。

②管理運営に関するまとめ（組織）について

- ・NPO・団体・町会などによる協同体のようなものがあればよいのではないかな。
- ・管理費について公的な部分と民間の部分の役割分担を話し合う場の設置が必要だと思う。
- ・管理について自治会との関係を考えることが必要である。

(2) 今後考えていく課題について（どんなルールやマナーが必要か）

①ルールについて

- ・夜に学生だけで使用するの禁止の方がよい。
- ・犬のリードやフンの始末について。
- ・ボール遊びは年齢によって遊び方が変わってくるので、どの程度を対象にするのか、もしくは時間帯や場所を分ける等のルールがあれば良いのではないか。
- ・自転車乗り入れを可能とする或いは練習する場に利用できるようにするのであれば、そのゾーニングも必要ではないか（例えば、道路の自転車専用道のように）。

②公園との関わり方について

- ・プレーパークを運営しているが、運営側（利用者側）が考える公園利用の目的（プレーパークの目的）と公園のルールに食い違いが出てくることがある。兼ね合いが大切だと考えている。
- ・ルールをサイン等で提示するだけでなく、地域で見まわる（見まわり隊）ことが必要ではないか。

(3) その他・公園計画への意見

- ・現在幸小学校のグラウンド横に四阿があり、バーベキューなどに利用できる様になっている。PTAを中心に地域の子育てグループ等と一緒に作ったものだが、管理は学校が行っている。その様な建物が公園では作れるのか。
- ・公園の高低差のある地形を生かして、流れ（せせらぎ）等があるジオラマを作ってはどうか。
- ・住宅（建替も含めて）ゾーンと公園を結ぶ考え方（遊歩道とか）はどうなっているのか。
- ・住民が(特に高齢者)の流れ（動き）を考えに入れた計画としてほしい。

4 班の意見

参加者：4名

(1) 管理運営の主体や仕組みについて（誰がどのように関われるか）

①行政＋地域団体が一緒に

- ・自治体・行政・民間団体・PTAなど、色々な活動団体が地元にはある。こうした団体には活動に慣れた人もいるので、この団体や行政と一緒に運営管理団体をつくれれば良いと思う。
- ・利用者や住民に、みんなが声がけをすることが良いと思う。

- ・例えば“幸・王子町づくり協議会”があるけれど、実際の活動はあまり行われていない。このような団体を活用することが良いと思う。

②仕事としての関り

- ・専門的な作業は委託契約する。
- ・一定の権限も含めて仕事として管理運営を考えるなど、高齢者、障害者等の人材雇用の一端として考える。

③SNSの活用

- ・管理している人、利用している人等、様々な人たちがSNSを活用して、意見を聞き入れる場とする。

④公園だけでなくまち全体の活動として考える

- ・まち全体の活動として、まち協や各種団体が行政と連携して運営管理を行うと良い。

(2) 今後考えていく課題について（どんなルールやマナーが必要か）

①ルールや使い方について

- ・深夜に集まり騒ぐ事や、特にたき火等の火の危険に関して、ルールを確実に作る必要がある。（安心・安全）
- ・あまり頻繁で無くとも、月に1度もしくは2、3ヶ月に1度の掃除でよいから、みんなで声掛けして掃除をする。（美しい公園）
- ・大人がどこまで口を出す（注意など）のか、子どもの考えも大切にしたい。
- ・自転車置場に自転車を止めることと、公園内で自転車の練習をする乗り入れることの区別等について、ルールを考える必要がある。
- ・ボールが使える場所や使うボールの種類等、ボールに関するルール決めが難しいのではないかな。

②ルールの運用について

- ・違反した人との諍いを仲裁する等、ルールを守ることについて行政のカバー必要だと思う。
- ・ルールを今後協議していくことで、マナーとモラルの啓発につながるものにしたい。

【ディスカッションのまとめ / ヘッズ】

○誰がどのように関わっていけるかということについては、自治会、学校、NPO 等、様々な団体や、新たに住まれる方々にも関わって欲しいという意見が出た。また、そのような人たちが集まって、公園について考える会や場が必要といった意見が多かった。また、地域で考えながら、行政とも連携していく中で、まちづくりの一環として公園を考えていきたいという意見があり、なるべく多くの人に関わってもらうための声かけや SNS を使った情報発信も必要になってくるというご意見があり、今後、地域で公園について考えるためのベースとなる議論ができたと思う。

○どんなルールがあればよいかということについては、まずはできるだけ禁止するのではなくルールで自由度の高い公園にしていきたいという意見、また、看板の設置だけでなく地域で見守っていきたいといった意見が挙がっていた。花みどりの管理やゴミの問題など、現段階での心配事も多く挙げられており、今後も課題は出てくると考えられるが、そういった時にどのようにルールを決めていくのか、またどのように運用するのか、ということを考えるのが、先ほど出ていた「みんなで考える場」になってくると思う。

【会場からの意見】

(参加者)

- ・今ある自治会を前提に考えているようだが、自治会のあり方も発展していく必要がある。
- ・公園について自治会とは別の新しい団体を立ち上げるという話のように聞こえるが、既存の自治会と対立するような会になってはいけない。

(ヘッズ)

- ・既存の自治会との関係については非常に大事な点である。
- ・新しいまちができていくなかで公園を考えていくため、既存の団体だけで役割分担する形では難しい。先ほどの説明が不十分だったかもしれないが、まずは「団体」というよりこのような話し合いの「場」を継続していくことが大切で、その上で、既存の団体とどのように連携していくのか、慎重に検討していくことが必要である。

【富まちミーティング【公園編】のまとめ・今後に向けて】

○公園の基本計画を考えるワークショップについては、今回で最後となる。前半で確認した計画案と今回議論した管理運営の考え方までを踏まえて、最終的に市として基本計画としてとりまとめる。何らかの形でみなさまにもお知らせできるようにする。